

ビデオナービズネットとは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.com>

📷 11月定例会のご案内

「今後の撮影手法やスタイル」

- ・お客様のニーズの変化、人口減少（少子化）
- ・私たち会員の体力、気力の減少
- ・機材の変化、進化

などに対して、過去に捕らわれない合理的な収録方法について、会員間で話し合ってみたいと思います。

次回定例会は

日時 2019年11月11日（月）19時～21時

場所 日暮里サニーホール 第1会議室

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

ホテルラングウッド5階 03-3807-3211

JR・京成日暮里駅より徒歩5分

開始時間をテスト的に変更しておりますので、お間違えのないようご注意ください！

👥 10月定例会のご報告

「音声録音について(吉岡さんの場合)」、「Inter BEE 2019」

吉岡さん流の「良い音」を撮るための方法を解説していただきました。

ICレコーダー、マイク（メインマイクには、1本15万円するものを使っているそうです！）、モバイルバッテリーなどの**使用機材紹介**。サンプリング周波数や量子化ビット数に対する考え方と**録音設定**。現場でのカメラとマイクの具体的な接続方法と配置を図にした**設置パターン**。

ホール三点吊りと持参マイクの**比較試聴**も行われました。

吉岡…性能が良いマイクとは高音がきれいに入るマイクで、やはり値段は高くなる。ミックスは悪い方のマイクに引っ張られる感じがする。

また他会員からは以下のアドバイスがありました。

高橋…客席後方のマイク位置は高いほうが、観客のノイズ少なくなる。

近藤…音は上に行くから、三点つりは理にかなっている。

上河…アッテネータを使うと音が変わってしまう。

また、今年のInter BEE 2019は、11/14（木）に会員有志で入場予定です。時間などをお繰り合わせの上、ご参加ください。良いネタがあるかも！

以上敬称略 文責：脇田



✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「よっしーのお手伝い日記」

佐藤さん「私にもできた！ Google Earthのあの表現」

が続きます！

（文責各筆者）

西湘のビデオ屋稼業

2019.11月 高橋 昌一
(含むことあり：個人的、感覚的話し)

運動会の撮影をやっと終わることが出来た。複数開催された10月5日(土)は天候に恵まれて、無事に全ヶ所終了。翌週12日(土)も複数個所あったが、こちらはその日の天候は良かったものの、台風の影響で全て事前延期になり、そのやり繰りにもそこそお手数と日数がかかってきた。

撮影に向かうと度々の延期に申し訳なさそうなお客さんもいらしたが、今回のように大変なときにこそ四の五の言わずに、顧客・保護者・ビデオ業者の別なく可能な限りみんなで力を併せて遂行するように心掛けると、お互いの距離がグッと近くなってくる。それ以降は会話の弾み具合もかなり違ってくる。それはなんだかんだ言っても「つくづくお互いハートだね！」と実感できる時でもある。

話しガラリと変わって…(ビデオ撮影とは直接関係のないお話しですが)

台風19号では小田原も被災があって、社会福祉協議会から連絡が入り、地元の仲間と3日間ほどボランティアに行ってきた。

やはり床上浸水の被災も多少あり、その中でも今回は高波の被害にあった海岸近くの民家と、河川近くの町工場の水排出や清掃作業。民家では濡れてしまった家具や日用品の片付け。家の中のほとんどの物をゴミとせざるを得ない状態だった。町工場ではいろいろな機械や部品が散乱気味で、作業場の中は水の溜まりも多く、また金属が多いので早めに清掃しなければ錆の発生が増えてくる。どちらの被災者も、ヤキモキしているものの、現実どうすることもできずに頭を抱えていたらしい。

今回の作業はひとことで言えば「人海戦術」。まさにコツコツ地道な作業になる。(東日本震災の時にも福島へ行ってきたが、ボランティア作業はとにかく「コツコツ地道、が多かった)

作業中、工場の若い息子さんがお礼の言葉を口にしてくる。あまりにも何度も言うてくるものだから「私たちにお礼は必要ない。その分いつか、困っている人がいたら、その人を助けてあげて欲しい」というようなことを伝えた。

清掃作業をしているうちに、自然と何だか自分の心も清掃していくような気分にもなっていく。

身体の軽い痛みは作業の二日後から始まり、数日続いて治まった。

よっしーの休日(8) よっしーのお手伝い日記 番外編

アソシネット株式会社 吉岡

2019年10月29日

何かあると、脇田さん(あっぷるこあ)のところが運営しているパソコン教室に集まる。6~7人集まって、ビデオの話をするには、設備が整っていて、ちょうどいいのだ。

今日は、参考になりそうな吹奏楽の映像を、皆さんで鑑賞することにした。

集まったメンバーは、今年、初めて吹奏楽の仕事を取ったという、あっぷるこあの脇田さんと摂子さん。毎年、吹奏楽の撮影をしている、赤岡さん(赤岡ビデオ企画)、菅澤さん(デジタル工房こまち)。吹奏楽の撮影は手伝いだけど、福田さん、吉岡。と、これから、お手伝いから始めようとしている、佐藤さん(都市建築写真事務所)、の7名。

鑑賞した映像は吹奏楽だが、自分たちが撮った吹奏楽や、他のDVD、それこそYoutubeの参考になる映像や面白い映像、アニメまで、多種多様。アニメは私が持ち込んだ。響け！ユーフォニアムね。

議論もかなり真剣だった、いつも真剣っちゃあ、真剣だけど、今日は何かが違う。

カメラの配置、台数、どんなカメラを使ってるか、4Kを使うのか、マイクの位置など、今までの経験も交えて、細かな分析をする。良い映像を見て、それが自分たちに可能なのかも。

カメラワークの話では、少し私の持論も展開する。

私の頭に残っている、故松本さんの言葉で、「カメラワークは意図なんだ」というものがある。まず、ここを見せ、移動しながら見せ、最後はここを見せる。計算した意図、それがカメラワークなんだと。

では、吹奏楽のカメラワークはどうか。カメラはほとんど移動しないので、パンかズームになるが、多くの場合、何から何、誰から誰、という意図はあまりない。多用すると、環境映像のような、見栄えがいいだけの、心に残らない映像になってしまうのではないか。そこにいる演者たちをきちんと見せる、という意味では、止め絵の方が意図がある。

まあ、あくまで、私の考えなので、ご容赦を。珍しいんですよ、私がここまで語るのは。ふふふ。

オープニングとエンディングの映像も話したり、楽器についても話したり、何か、全部全部、話したような気がする。

(だけど、私が持ち込んだアニメの良さを分かってくれたのは、摂子さんだけだったな)

佐藤光一

私にもできた！ Google Earth あの表現

あの表現とはよくテレビのニュースやバラエティ番組(ポツンと一軒家など)の最初に出てくる地球から日本の目的地までをズームする表現のことです。

YouTube に CMM と打って検索して下さい。我々と同じ位の年齢の人がやっているユーチューバーがいます。語りのテンポが年配なので丁度よいのです。その人の動画を選んでクリックするとかなり沢山の再生リストがあります。9ヶ月前(2019.01.04)まで戻ると6件 Google Earth Studio の事が紹介されています。このサイトを見てできるまでをかいつまんで書いてみます。

1. Google Earth Studio を開く
2. 登録をする
3. 登録する人によって違いますが、私は1日でGoogleから招待状が届きました。
4. 概要をよく読む
5. 初心者なので Quick Start Project を使用
6. 表現方法として今回は「Zoom-To(ズーム)」と「Orbit(軌道)描いて移動」を使いました。後者の Orbit は目標物に円を描いて移動するものです。まるでドローンや空撮のような表現ができます。

Zoom-To(ズーム)での例

1. 目的地の住所を入力(日本から入れる)
2. 出発地を決める
3. 秒数を決める
4. Renda(確認) → 名前を付けて保存 → スタートボタンを押す。
5. レンダリング開始。書き出し終了後 Zip 形式になる。
6. ダウンロードホルダーを展開
7. 編集ソフトで JPEG 画像1枚につき1フレームにしてタイムラインに並べます。

インジケーターを動かすと感動のあの表現ができているではありませんか。

発表会をしたホール、幼稚園、小学校など冒頭のシーンで使ってみると時には新鮮に見えるかもしれません。

私もさっそく動画の1カット目に Zoom-To、2カット目に Orbit を入れてお客様に納品いたしました。